安全にお使いいただくために

本書では、製品を正しくお使いいただくための重要な情報を記載しています。
本書をよくお読みのうえ、製品をお使いください。

- ご使用の際は、必ず添付のマニュアル類をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- マニュアル類は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。

● 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

⚠ 警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。

本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねた状態で使用しない。

電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ノート型コンピューターの場合は、バッテリーパックも取り外します。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

警告

水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。
水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ノート型コンピューターの場合は、バッテリーパックも取り外します。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

光ディスクドライブ搭載の場合、光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。
飛び散って、けがをするおそれがあります。

本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。
けが・感電・火災の原因となります。

装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。ノート型コンピューターの場合は、バッテリーパックも取り外します。
電源プラグやバッテリーパックを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。

アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。
また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

アース端子付き電源コード付属の場合

警告

電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。
接地しないで使用すると、感電の危険があります。
アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。
火災の原因となります。

アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。
感電・火災の原因となります。

バッテリーパック・AC アダプター付属の場合

		バッテリーパックの金属端子を水、コーヒー、ジュースなどの液体でぬらさないでください。 感電・発火・火傷の原因となります。
		バッテリーパックを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。 発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
		本体や付属のバッテリーパックなどを火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。 破裂などで火傷の原因となります。
		バッテリーパックの金属端子をショートさせないでください。 火傷の原因となります。
		付属の AC アダプターやバッテリーパックを、分解・改造しないでください。 感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。 分解・改造した AC アダプターやバッテリーパック（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。
		本機には、指定以外の AC アダプターやバッテリーパックを使用しないでください。また、本機の AC アダプターやバッテリーパックは、他の製品に使用しないでください。 火傷・火災の原因となります。
		小さなお子様の手の届く所にバッテリーパックを保管しないでください。 なめたりすると、火傷や化学物質による被害の原因となります。
		バッテリーパックには、落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるなどの衝撃を与えないでください。 破裂や液漏れにより、火傷や化学物質による被害の原因となります。
		バッテリー駆動時間が極端に短くなった場合は、当社指定の新しいバッテリーパックと交換してください。 駆動時間が短くなったバッテリーパックは、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。 電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーパックをそのまま使用し続けると、発熱･発火･破裂の原因となります。

無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）搭載の場合

警 告

航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか、無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）の電波を停止してください。

電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。

医療機関の屋内で無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）を使用するときは、次のことを守ってください。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
- 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
- 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
- 本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。

電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。

満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。

無線機能（無線 LAN・Bluetooth・WiMAX など）は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
次の点を守ってください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に設置しない。
- じゅうたんや布団の上などに置かない。
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
- 起動状態でキャリングケースやバッグなどに入れない。

各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。

交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。
感電の原因となります。

装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。
火傷のおそれがあります。
本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。

オプティカルマウスの場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合は、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。
視覚障害の原因となります。

注 意

光ディスクドライブ搭載の場合、レーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー装置として分類され、その安全基準を満たしたドライブが搭載されています。
しかしながら、ドライブを分解すると、クラス 1 を超えるレーザーがドライブ外部に出力されることがあります。
ドライブを分解したり、動作中にドライブ内部をのぞきこまないでください。
レーザー被爆による失明や皮膚などの障害の原因となります。

光ディスクドライブ搭載の場合、光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。
けがをするおそれがあります。

ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

ノート型コンピューターの液晶ディスプレイが破損して内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。
火傷や化学物質による被害の原因となります。
万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。

ノート型コンピューターのパームレストやキーボードに長時間手を置かないでください。
パームレストやキーボードが熱を持つことがあり、低温火傷のおそれがあります。

ノート型コンピューターをひざの上で長時間使用しないでください。
本機底面が熱を持つため、低温火傷の原因となります。

長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。

製品の質量が 15kg 以上の場合、製品を開梱したり移動するときは 1 人で行わないでください。
必ず2人以上で行ってください。
けがの原因となります。

内蔵リチウム電池の着脱ができる製品の場合、小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。
飲み込むと化学物質による被害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。

連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。ノート型コンピューターの場合は、バッテリーパックも取り外してください。
火災の原因となることがあります。

バッテリーパック・AC アダプター付属の場合

注 意

AC アダプターやバッテリーパックに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターやバッテリーパックを使用しないでください。
感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターやバッテリーパックが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーパックを取り外してください。

AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災のおそれがあります。

AC アダプターの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。
低温火傷の原因となります。

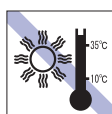
製品保護上の注意

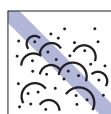
使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

注意事項の適用範囲は、次のように表示します。

Note ノート型コンピューター　　AC ACアダプター

特に適用範囲の指定がない限り、注意事項は、すべての種類のコンピューター本体、ACアダプターやバッテリーパックなどの同梱品に適用されます。

温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。

ホコリの多い所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。

テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。

コンピューターを設置する際は、マニュアルで指示されている以外の置き方をしないでください。

故障、誤動作の原因となります。

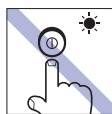
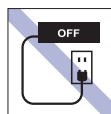
電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。（ノート型コンピューターの場合も、バッテリーパックの状態により、作業データがメモリー上から消えることがあります）

本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。

本機の上には重い物を載せないでください。

重圧により、故障や誤動作の原因となります。

アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。

コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。

電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。

輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。

配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。

本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。

不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。

本機を長期間使わないときは、バッテリーパックを本機に装着したままにしないでください。

液漏れを起こすことがあります。

Note

本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。

LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。

Note

本機の LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を開けた状態で、LCD ユニットを持って移動しないでください。

また、開閉可能な最大角度を超えて LCD ユニットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。

Note

AC アダプターはコードを持って抜き差ししないでください。

コードの断線や接触不良の原因となります。

AC

移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。

内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。

ほかの機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。

無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。

LCD 画面の表面はアクリル製ですので、キズが付いたり、割れたりすることがあります。

Note

本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。

Note

キーボードの上などに、物（ボールペンなど）をはさんだまま、LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を閉じないでください。

Note

AC アダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。

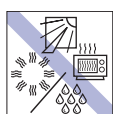
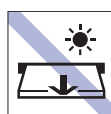
AC

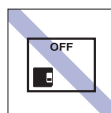
記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

記録メディアの種類は、次のように表示します。

FD FD　**CD** 光ディスクメディア　**MC** メモリーカード

記録メディアの種類を指定していない注意事項は、すべての記録メディアに適用されます。

直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。

アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。

上に物を載せないでください。

使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。

キズを付けないでください。

ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。

クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。

信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。

クリーニングするときは、CD 専用クリーナーを使ってください。

CD

レコードのように回転させて拭かないでください。

内側から外側に向かって拭いてください。

CD

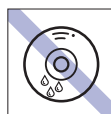
光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングする CD は使わないでください。

CD

シールを貼らないでください。

CD

信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD

温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

CD

何度も読み書きした FD は使わないでください。
摩耗した FD を使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。

FD MC

磁性面や金属端子にホコリや水を付けないでください。
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

FD MC

テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

FD MC

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

レンズ部分に触れないでください。

持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

ゴミやホコリの多い場所で使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因となります。

無線LAN使用時の セキュリティーに関する注意（無線LAN搭載時）

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線LANを使用する前に、必ずお読みください。

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティー対策を施さず、または、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

レーザー製品安全基準

＜光ディスクドライブ搭載の場合＞

本機に搭載されている光ディスクドライブは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

＜レーザーマウス添付の場合＞

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。